

福商会報

FUKUSYO OB COMMUNICATION MAGAZINE

発行所／社団法人 福商会 専務理事／前田 福一 福岡市中央区大名1-12-57
TEL:092-711-9890 FAX:092-711-9266
http://www.fukushokai.or.jp Eメール:info@fukushokai.or.jp

熱・意気・力

Vol.140

第54回 福商会全国同窓大会

第54回

(創立104周年) 同窓大会開催



6月6日、ホテルニューオータワ「博多」に於いて、昭和26年から始まった福商会全国同窓大会に約800人の来賓・同窓生が集い開催されました。

総会に於いては、当番幹事である大会実行委員長の石田守氏(79回生)から力強い開会の挨拶があり、来賓の紹介の後、総会が開始されました。

山崎福商会理事長から、福翔改革について、「改革を成功させるために、制度の改革のみならず、教育現場に於ける積極的な取り組みと行政による強力な施策が求められます。」と同窓会からの学校発展に対する期待を語られました。

西副市長からは「福商は明治33年の創立以来、優れた校風と伝統を基礎に、これまで数多くの優秀な人材を輩出し、本市の発展に大きく寄与されて来ました。」とご挨拶がありました。

続いて蔵本専務理事から平成15年度の会務報告があり、出席者の拍手で承認されました。次に6月から第四代福商会理事長に就任する山口毅氏(52回生)から今後の福商会・福翔高校の発展を期しての決意が述べられました。前田新専務理事(55回生)から、今年度の福商会予算案が提案され、承認されました。

大会恒例の「喜寿の祝い」は42回生の32名の方々に記念品が贈呈され、落合「男先輩が代表して感謝の言葉が述べられました。

また51回生代表の豊福真木子氏に卒業50周年記念の奨学基金贈与、又60回生の湯下稔明氏には会館の有効利用に対する言献で、それぞれ感謝状が贈られ総会を終了しました。

全国同窓大会



福岡県全国同窓大会



段福翔高校校長の乾杯の音頭

福商のパワーと誇りを確認 多数の参加者に感謝

懇親会では今回初めて全出席者の座席が設けられ、福翔高校の段新校長の力強い言葉で乾杯の音頭がとられ、始めに会場を庄する沖縄エイサーで大いに盛り上がり、年代を超えて昔話に花が咲き、旧交を暖める素晴らしい同窓会になりました。

来年の当番幹事（80回生）との引継式、応援歌、校歌斉唱、博多祝い歌、伊藤忠氏（63回生）の博多手一本で、2時間及び楽しかった同窓大会と来年の再会を約して閉会となりました。



新・旧三役と中牟田相談役（総会に於いて）



総会で開会の挨拶をされる山崎孝一理事長

CONTENTS

全国同窓大会	1~3
三役紹介	4
理事会報告	6
これからの福商会の動き	7
会計諸表	8
学園から	10
同窓会だより	12
随想	14
トピックス	15
会費納入者名簿	16
お知らせ	18

大山相談役 女性会員に囲まれてご満悦



来年の再会を誓って...

開会の準備にも余念がない



先輩、後輩入り交じっての楽しい談笑

来賓席



第54回 福商会全国同窓大会



沖縄エイサーで大いに盛り上がる

応援団のOBによる応援歌、校歌の指揮を取る男女!

第54回 福商会全国同窓大会



来賓席



「喜寿の祝い」の42回生の皆様

新理事長の横顔

「福商は、人生の原点」



理事長
山口 毅
(52回生)

山口新理事長の簡単なプロフィールと、母校福翔高や福商会に対する抱負をお聞きました。

子供達を福翔高へ進学させたい」と思うような高校にすることが第一義であるとの考えであります。

今回の福商会の財政改善も、母校発展、スポーツ部のより一層の活性化に役立てたいと切望されています。

もっと具体的に述べれば、「学力面では、毎年九大へは十名、西南大には、百名程度合格する高校、一方スポーツ部に於いてもインターハイへの出場が狙える部が続出するような活気ある高校になって欲しい」と母校支援に意欲を燃やしております。

福商時代は人生の原点

理事長にご自分の福岡商業高校時代の事をお伺い致しました。

「私の人生の原点は福岡商業高校時代にあります。」と断言されました。

中学時代から商売に興味を持たれ、室見川で獲れたツガニを料亭に持って行ったり、早良の山中で採ったヒノキの枝を西新の青果市場で売ったりしておられたそうです。

こうした体験から「よし、自分は事業家になるのだ。」と決心し、福岡商業高校への進学を決意されました。

入学されてからは、午前七時に早良の実家を出られ、博多区堅粕の学校まで片道18キロの道のりを、毎日く自転車通学されました。

その上、バスケット部に入部し、部活

を終え家に着くのは毎日午後九時頃になり、くたくたくで勉強する暇もなかったと苦笑いされておられました。

この時の習慣からか経営者になられた今でも、会社に午前七時には出社され始業前までにほとんどの来客と応対され、業務連絡を済まされる毎日だそうです。

「人より長く働くことは全然苦になりません」との事。ご多忙の中で「福岡「ニュージーンズ」友好協会」「全国辛子めんたいこ食品公正取引協議会」「社団法人福岡県物産振興会」等の各会長を務められています。

先輩方に支えられて

そして今日までの人生を振り返ってみるとやはり「福商人脈」に支えられてきたのだと実感しておられます。

1960年(昭和35年)には総理府の命により日本青年海外派遣団の一員に選ばれ、米国、中南米を四ヶ月間訪問された時、福商の大先輩、故 中牟田喜兵衛氏や故 出光佐三氏から壮行会や饗別をして頂き物心両面で激励して頂き、そのお陰で未だに関係者の方々と交流が続いているそうです。

「立派な先輩に恵まれ、いざいざ、巣立つことを誇りにして欲しい」との後輩達へのメッセージを頂きました。

福岡経済界の重鎮

本業は、「味のめんたい 福太郎」のブランドで知られる辛子めんたいの製造販売と外食産業食材卸販売会社社長として活躍されております。

福岡経済界でも企業改革と合理化では、その経営手腕が高く評価されており、第二セクター会社の引き受け、民事再生会社の社外取締役就任など多岐です。

今まで収益確保に長い間苦しんでおりました福商会の運営改善に副理事長として携わられました。今、若者達に

「子供に行かせたい」と

言われる高校に

新理事長は、福岡の人々が「自分の

副理事長の言葉

感動の中で、絆を確認しつつ



副理事長
松尾 嘉助
(43回生)

人は活々と生きてこそ、人生だと私は思っています。時には過ちもあり、その失敗を糧として、幸せを追求するエントランスの日々です。

福商会の大役をお引き受けして丸一年、早いものです。

振り返りますと、山崎理事長(本年六月の合同同窓会を機に退任)、山口副理事長(現理事長)、評議員、理事の皆様と共に、よりよい福商会への改善・改善に動いて参りました。単に懇親交流、研鑽が目的ならまだしも、時代性と若い会員の積極的な参加をはかるべく諸々の改善に取り組みました。それも福商会は社団法人であるが故に、福岡県教育委員会管掌の制約の中でのことです。

こうした動きの中で、最も重要な課題だったのは定款でした。これまでの

定款は、会員の間から不備を指摘されてきました。一つの例を挙げますと、年に一度の総会が何人以上の出席があれば成立し、どれだけの比率の賛成があれば議題が承認されるのか、といった明確な規定がなかったのです。

この問題を解決すべく、昨15年度に定款委員会が発足しました。16回の会合には私もオブザーバーとして出席しました。44回生の原田尚一氏を始め、7人のメンバー全員が発言は真剣そのものでした。激論の姿は、卒業年次の上下を問わず、さすが建学の福商魂である「熱と意気と力」の精神的風土から湧き出てくるものをひしひしと感じました。こうして練り上げられた改善案は、格調の高い内容でした。

16年度はその改善案を、新たに数人の理事を加えて、完結を目指して参ります。

永い風雪を越えて、運営に尽力された大先輩の力があってこそ福商会です。そうした先輩方からの強い絆に感謝の誠を捧げながら、私に課せられた任を全うする覚悟であります。

会員の皆様方のご協力をお願いしながら。

専務理事の言葉

福商会の再出発にあたり



専務理事
前田 福一
(55回生)

幸いな事に財政面での大幅な改善がなされ、今後は社団法人 福商会の果たすべき目的を積極的かつ前向きに展開する事ができます。

専務理事に就任して以来、三ヶ月余りありますが、正直に申して、これ程素晴らしい同窓会組織は全国的に見ても皆無であると実感しております。

この福商会の持つ、人的財産、物的財産は将来にわたって若い世代の会員に正しく継承されねばなりません。この事を常に念頭に置きながら福商会の運営に当たらなければならぬと思っております。

福商の先輩たちが今日まで営々と築き上げてこられました福商会を中心として、同窓会の発展と母校福翔高の一層の活性化を目指して、皆様と一緒に頑張りていきたいと考えております。

今後ともよろしくお願い致します。

この度、去る六月六日に全国同窓会総会に於いて、蔵本専務理事の後任として専務理事に選任されました。専務理事に選任されるまでの間、色々と紆余曲折がありました。最終的に引き受ける事となりました。伝統ある福商会の専務理事としての重責を思う時、身の引き締まる思いであります。

一旦引き受けした以上は浅学非才の私ではありますが、全力を挙げ、その職責を全うする覚悟であります。そのためには理事の方々や同窓会員の皆様のご指導とご理解、更にご協力は欠く事が出来ないものであります。

色々と解決すべき問題も山積しておりますが、福商魂「熱・意気・力」で一步／＼前進してまいります。



理事会報告

15年度から継続して9回目の理事会が4月9日会館会議室で開催されました。出席理事25名委任状6名でした。(理事総数は37名) 第一号議案(福商会三役)について、

山口次期理事長から、平成16年度の新社役について、前田福一氏(55回生)を専務候補に推薦し、副理事長は現在の松尾嘉助副理事長一人の体制で運営して行きたい旨の提案を受けて、前田常務理事(45回生)他多数の理事から、専務の互選より理事の選任が先ではないか、等々の意見が出され総会で改めて諮ることとなり、理事全員の承諾を得ました。

◎報告事項(定款改定の委員会報告)

前回会報誌面に定款委員会案での経過内容を掲載したが、改めてメンバーの一人である平島和也理事(62回生)から出席理事に、変更の要旨を詳細に説明し、又原田尚一委員(44回生)からも補足説明がありました。この事を受けて、多数の理事から「総会の在り方」「理事会の在り方」そして理事の定数の是非論等が様々な角度から浮発に出され、最終的に委員会変更案を理事各人が検討し、事務局へ意見を提出する事で、再度議論することになりました。

福商会決算理事会・評議員会報告

平成15年度の決算理事会が、5月14日および評議員会が5月27日会館会議室で開催されました。

理事会出席理事は29名、委任状3名、評議員会出席者は35名でした。

第一号議案(専務理事の互選および理事の選任)について、

山崎議長から、前田福一氏他数名の理事候補の推薦があつたが、平島和也理事(62回生)から定款に抵触するとの意見を受け、総会で改めて諮ることになりました。

第二号議案(平成15年度事業報告、収支決算)について、白浜事務局長(63回生)から、この一年間の運営取組経過を報告した後、事業と収支決算の詳細報告を行い、理事および評議員に諮ったところ、一部科目について質問がありました。事務局より回答を行い、全員の承諾を得ました。

第三号議案(平成16年度事業計画案、収支予算案)について

前田次期専務から事業計画および収支予算について説明を行い、その主たる項目は①年会費の還元(三割)②理事会、その他委員会への必要経費の計上(年一百万円)③各支部対策費の計上(五十万円)④理事奨学資金(年二万円)廃止と新たに山口奨学資金の計上(年百万円)。以上を諮り、理事および評議員の承諾を得ました。

平成16年度理事会報告

新年度初めての理事会が6月28日の福商会館で開催されました。今回の出席理事は29名委任状は2名でした。(理事総数は39名)

山口毅理事長(52回生)の挨拶に続き、議長に松尾嘉助副理事長(43回生)を特別指名し、次の五議案が提案されました。

第一号議案(各事業委員会の構成メンバー)

前田福一専務(55回生)から、各事業委員会毎のメンバー(次員のとおり)を発表し、理事

全員の承諾を得ました。これにより、各メンバーで一年間議論を深め、活動することとなります。

第二号議案(年間行事予定)

前田専務からこの一年間の行事予定を説明し、理事全員の了承を得ました。

第三号議案(役員退任に係る記念品贈呈および相談役委嘱)

山口理事長から、山崎前理事長および蔵本前専務の相談役委嘱の提案があり、又記念品贈呈についても三役一任すること、理事全員の承諾を得ました。

第四号議案(年会費および終身会費)

山口理事長から、福商会運営の過去において終身会員制があり、これらの会員は現在会費が支払われてなく、現行の運営の仕組みから不都合であり、今年度から制度を廃止したいとの提案を、理事全員で承認しました。

第五号議案(理事および代議員)

山口理事長から、来年度総会の構成を変更(詳細は会報47号で掲載済)したいが、その一つとして、理事および代議員の定数をそれぞれ百名以内とする旨の提案があり、これに対し前定款委で検討してきた内容と整合性があるのか等々の意見が各理事から続出し、新しい定款委で改めて議論をして、再度理事会に諮ることとなりました。

◎報告事項(平成15年度会費戻し額)

同窓会活性化推進のため、当該年度の会費納入実績の三割を各回に戻す。理事会の出席者には今年度から交通費相当の三千元を支給する等の報告があり、理事の了解を得ました。

福商会役員

【理事長】	山口 毅 (62回生)
【副理事長】	松尾 嘉助 (43回生)
【専務理事】	前田 福一 (55回生)
【相談役】	中牟田喜一郎 (30回生) 大山安太郎 (30回生) 渡邊與三郎 (39回生) 速水 庸人 (32回生) 山崎 孝一 (42回生) 蔵本 隆 (44回生)
【理事】	田中 寛 (40回生) 渡邊健二郎 (42回生) 吉崎 数馬 (43回生) 前田 常喜 (45回生) 平野 俊一 (46回生) 富永 哲二 (48回生) 播磨 弘一 (50回生) 安河内真彦 (52回生) 西田 将 (54回生) 永島 光雄 (55回生) 石村 泰久 (56回生) 立川 洋蔵 (57回生) 吉村 公良 (57回生) 村下 勝定 (58回生) 川井 静樹 (58回生) 羽野 恭子 (59回生) 廣田 昭俊 (60回生) 久保 忠一 (60回生) 平島 和也 (62回生)

これからの福商会の動き

去る6月28日に第一回理事会が開催され、次のような議案が討議検討され承認されましたので、ここに説明いたします。

1 各委員会の役割と委員の発表

【広報委員会】

- 委員長 前田 福一(55回生)
- 副委員長 川井 静樹(58回生)
- 委員 安河内真彦(52回生)
- 藤村みつ子(53回生)
- 今井 勝彦(57回生)
- 跡部 宗教(79回生)
- 枝村 裕子(79回生)
- 白浜 和樹(63回生)

- ① 福商会報の作成
- ② ホームページ・Eメールの作成

【福翔高校活性化委員会】

- 福商会・三役他理事 2名
- 学校・校長、教頭、教師 5名
- PTA役員 5名

- ① 福翔高校の活性化について
- ② 奨学金事業の推進
- ③ その他

【福翔高スポーツ・文化部振興委員会】

- 委員長 古賀 清美(66回生)

【定款委員会】

- 三役・事務長 理事

- 副委員長 無津呂繁憲(78回生)
- 委員 各スポーツ・文化部OB会会長
- ① 母校スポーツ・文化部の強化・振興
- ② 強化 振興資金の援助
- ③ OB・OG会の親睦

- 前田 常喜(45回生)
- 西田 将(54回生)
- 羽野 恭子(59回生)

- ① 従前の定款委員会の定款変更案を最終的に審議し、理事会に提案する定款の作成

【親睦委員会】

- 委員長 寺崎 裕幸(67回生)
- 副委員長 渡口 史郎(70回生)
- 委員 谷口 政幸(72回生)

- 一般会員より数名選出

- ① 福商会の親睦を図るための企画提案
- ② 福商会ゴルフコンペの実施
- ③ 福商会・縦の糸の会への企画実施
- ④ 女性会員の会の設立・実行
- ⑤ その他音楽会成人式、各同窓会への援助

以上の各委員会を中心に福商会の運営をいたしております。
一般会員の方には色々とお意見も

あるかと思えます。福商会のEメールも出来ましたので、奮ってご意見、アイデアをお寄せください。

2 各回の年会費入金合計の30%を還元

これは各卒業回数ごとに年会費を年度末(毎年3月末)に集計し、その回へ合計金額の30%を還元します。

その用途はその回の判断にお任せします。ので、会費、通信費の一助にして回の結末 親睦を深めて頂ければと思います。

3 終身会員制の廃止

かつての年会費の増収を図るため、終身会員制がとられた時期がありましたが、その時期や収入記録が曖昧模糊としておりますので、本年度よりこの制度を廃止することとなりました。

4 理事会出席者へ旅費日当として三千円支給

本年度から理事会は年4回開催され、その他各委員会にも所属される理事もおられ、ご負担をお掛けする事が多くなり今回の措置となりました。

● 来年の同窓会ご案内 ●

第55回福商会全国同窓大会は
平成17年6月12日(日曜日)
ホテルニューオータニ博多にて開催

平成16年度

内海 清(63回生)	畑山 正寿(64回生)	末安 哲(65回生)	古賀 清美(66回生)	寺崎 裕幸(67回生)	藤木 直幸(68回生)	石川 圭祐(69回生)	渡口 史朗(70回生)	南原 茂介(71回生)	谷口 政幸(72回生)	末松 義成(74回生)	長舟 光之(76回生)	日野 孝治(77回生)	無津呂 繁憲(78回生)	石田 守(79回生)	筑後支部会	【理事・支部長】	荒井 昌夫(38回生)	太宰府支部会	【理事・支部長】	古住 敬造(42回生)	箱崎支部会	【理事・支部長】	古田 鷹治(42回生)	【監事】	松本 宗次郎(45回生)	清水 龍治(63回生)
------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	------------	-------	----------	-------------	--------	----------	-------------	-------	----------	-------------	------	--------------	-------------



平成15年度決算報告書

【収支計算書】平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額			
		合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別	記 念 事 業 特 別
事 業 収 入	39,500,000	35,273,600	35,258,600	0	15,000
入 会 金 収 入	3,200,000	3,120,000	3,120,000	0	0
年 会 費 収 入	5,000,000	1,920,000	1,920,000	0	0
寄 付 金 収 入	2,660,000	1,968,667	0	1,968,667	0
雑 収 入	150,000	32,036,020	30,568,171	1,464,336	3,513
固定資産売却収入	0	50,000	50,000	0	0
その他の収入	0	21,693,508	21,693,508	0	0
有価証券売却収入	0	29,142,349	8,845,075	20,297,274	0
当期収入合計(A)	50,510,000	125,204,144	101,455,354	23,730,277	18,513
前期繰越収支差額	3,158,332	35,121,754	2,151,653	1,006,679	31,963,422
収入合計(B)	53,668,332	160,325,898	103,607,007	24,736,956	31,981,935

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額			
		合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別	記 念 事 業 特 別
事 業 費	34,040,000	66,832,006	32,900,071	1,950,000	31,981,935
管 理 費	16,320,000	18,223,981	18,185,608	38,373	0
固定資産取得支出	0	29,127,000	29,127,000	0	0
有価証券購入支出	0	0	0	0	0
雑 損 失	0	15,000,000	15,000,000	0	0
その他の支出	0	0	0	0	0
定期預金購入支出	0	21,500,000	0	21,500,000	0
当期支出合計(C)	50,360,000	150,682,987	95,212,679	23,488,373	31,981,935
当期収支差額(A)-(C)	150,000	△25,478,843	6,242,675	241,904	△31,963,422
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,308,332	9,642,911	8,394,328	1,248,583	0

【正味財産増減計算書】平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

科 目	金 額			
	合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別	記 念 事 業 特 別
I 増加原因の部				
1. 事業収入	37,242,267	35,258,600	1,968,667	15,000
2. 会費収入	5,040,000	5,040,000	0	0
3. 雑収入	32,036,020	30,568,171	1,464,336	3,513
4. 什器備品売却益	14,163	14,163	0	0
合 計	74,332,450	70,880,934	3,433,003	18,513
II 減少原因の部				
1. 事業費	64,118,535	30,186,600	1,950,000	31,981,935
2. 管理費	18,223,981	18,185,608	38,373	0
3. 雑損失	15,000,000	15,000,000	0	0
4. 有価証券売却損	9,731,940	5,963,675	3,768,265	0
5. その他費用	3,494,236	3,494,236	0	0
合 計	110,568,692	72,830,119	5,756,638	31,981,935
当期正味財産増減額	△36,236,242	△1,949,185	△2,323,635	△31,963,422
前期繰越正味財産額	190,338,862	116,593,880	41,781,560	31,963,422
期末正味財産合計額	154,102,620	114,644,695	39,457,925	0

【貸借対照表】平成16年3月31日現在

資産の部

科 目	金 額			
	合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別	記 念 事 業 特 別
流 動 資 産	26,667,072	25,418,489	1,248,583	0
現 金 預 金	22,929,267	21,680,684	1,248,583	0
未 収 金	615,000	615,000	0	0
仮 払 金	20,000	20,000	0	0
立 替 金	176,709	176,709	0	0
貯 蔵 品	2,926,096	2,926,096	0	0
国 定 資 産	165,726,822	127,517,480	38,209,342	0
(基 本 財 産)	51,421,529	21,421,529	30,000,000	0
土 地	18,821,529	18,821,529	0	0
有 価 証 券	11,100,000	2,600,000	8,500,000	0
定 期 預 金	21,500,000	0	21,500,000	0
(その他の固定資産)	114,305,293	106,095,951	8,209,342	0
建 物	100,234,671	100,234,671	0	0
什 器 備 品	1,154,257	1,154,257	0	0
有 価 証 券	6,228,962	2,019,782	4,209,180	0
そ の 他	6,687,403	2,687,241	4,000,162	0
資 産 合 計	192,393,894	152,935,969	39,457,925	0

負債の部

科 目	金 額			
	合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別	記 念 事 業 特 別
流 動 負 債	27,575,274	27,575,274	0	0
仮 受 金	0	0	0	0
前 受 金	13,522,000	13,522,000	0	0
預 り 金	151,918	151,918	0	0
未 払 金	13,901,356	13,901,356	0	0
国 定 負 債	10,716,000	10,716,000	0	0
長 期 預 り 金	10,716,000	10,716,000	0	0
負 債 合 計	38,291,274	38,291,274	0	0

正味財産の部

科 目	金 額			
	合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別	記 念 事 業 特 別
正 味 財 産	154,102,620	114,644,695	39,457,925	0
うち(基本基金)	51,421,526	21,421,529	30,000,000	0
当期正味財産増減額	△4,272,820	△1,949,185	△2,323,635	0
負債及び正味財産合計	192,393,894	152,935,969	39,457,925	0

平成16年度収支予算

収入の部

科 目	決 算 額		
	合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別
事 業 収 入	58,284,000	58,284,000	0
会 費 収 入	5,200,000	5,200,000	0
寄 付 金 収 入	1,800,000	0	1,800,000
雑 収 入	0	0	0
繰 入 金 収 入	2,000,000	0	2,000,000
当期収入合計(A)	67,284,000	63,484,000	3,800,000
前期繰越収支差額	9,642,911	8,394,328	1,248,583
収入合計(B)	76,926,911	71,878,328	5,048,583

支出の部

科 目	決 算 額		
	合 計	一 般 会 計	奨 学 事 業 特 別
事 業 費	35,240,000	33,170,000	2,070,000
管 理 費	17,190,000	17,140,000	50,000
固定資産取得支出	2,000,000	2,000,000	0
有価証券購入支出	0	0	0
繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0
その他の支出	0	0	0
予備費	0	0	0
当期支出合計(C)	56,430,000	54,310,000	2,120,000
当期収支差額	10,854,000	9,174,000	1,680,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	20,496,911	17,568,328	2,928,583

【平成15年度監査報告】

監 事	松 本 宗 次 郎 (45) 清 水 龍 治 (63)
監 査 期 日	平 成 16 年 5 月 7 日 (金) 午 後 2 時
監 査 場 所	福 岡 市 中 央 区 大 名 苅 丁 目 拾 貳 番 五 拾 七 号 福 商 会 館 に お いて
監 査 対 象	現 金 出 納 帳 元 帳 普 通 預 金 通 帳 (残 高 証 明 書 付) 定 額 預 金 証 書 及 び 有 価 証 券 領 収 書
監 査 結 果	上 記 監 査 対 象 を 精 査 し た 結 果、 整 然 と 整 理 が 行 わ れ て お り、 収 支 と も 誤 り が な く 正 確 で あ る こ と を 証 明 し ま す。
	監 事 松 本 宗 次 郎 (印) 同 清 水 龍 治 (印)

本校の進路の現状と課題

進路指導部 金山達雄

I

少々大仰な題になりましたが、昨年度の進路状況については既に5月号で詳述しておりますので、「現状と課題」という多少将来的な方向性を交えた内容について整理してみたいと思います。(予めおことわりしておきますが、あくまで個人の私見に過ぎません)

断は避けるべきでしょうが、その2回の中でかなりの差異が生じているのも事実なのです。

従来の3学科10学級400人の時に比して、現在は八学級320人となり、進学希望者はほぼ横這いで、就職希望者の数がほぼ半数以下に減少しています。進学希望者のうちほぼ6割が4年制大学を希望しており、数的には従来より微増と言えるかもしれませんが、今年度の3年生にも言えることですが、320名の中で進学希望者が全体のほぼ8割で、就職希望者がほぼ2割という傾向に大きな変化は生じていません。そこで先述した二期生と二期生の比較に移りますが、いずれも地元の有力量である西南大学、福岡大学については従来を上回る成績を上げています。(特に西南大学については、ほぼ倍増しています。)では、どこが一期生と二期生が違つのか、という点です。端的に言つと、選択肢の中の広さです。一期生の時には、関東・関西にもかなりの生徒が進みましたが、二期生ではパターンとして従来の「現役地元」

II

本校が、「総合学科」に学科転換して、今年で5年になります。「総合学科」については今更詳述する必要もないかと思ひますので省きますが、過去2年(2回)の卒業生の進路状況を概括してみると興味深い傾向が見えてきます。というのは、「総合学科」の理念を最も具現化して「さまざまな進路」に向かつて羽ばたいていたのは、教員集団(特に担任集団)も手探りで暗中模索しながら歩を進めていた、「総合学科二期生」(1001回生)であるといひたいです。まだ、二回しか卒業生を送り出してはいないので即

断は避けるべきでしょうが、その2回の中でかなりの差異が生じているのも事実なのです。

III

指向に戻つたと言へることです。(因みに、国立大学については、ほぼ従来と変わつていません)この変化が何を背景にしているのか、様々な要因があるかと思いますが、一つには経済的なもの、そしてもう一つには少子化(親も子も家が一番、という傾向)があると考えられます。そして、この傾向は就職についてもより顕著に現れていると言へます。

今年度、二期生が卒業を迎えます。やつと、と言つべきでしょうか、進学・就職いずれの希望の生徒も顔付きが少し変わつてき始めました。この「おつとり、のんびり」は本校の良き伝統だと思つのですが、ただ、課題としては、せめて二年生の終わりには、「顔付き」が変わるよつに「仕組み」「努力」を我々はしなければならぬと思つています。そのためには「窮屈」になりざるを得ない「カリキュラム」や学校行事を再構築する発想と実行が急務であると言へます。

体育部・文化部の主な成績

体育部 (平成16年4月より8月5日まで)

陸上競技部

【全国高校総体大会中部地区予選】

山本進太郎 10007位・20006位・県大会出場、県大会6位で北九州大会に出場し、準決勝進出

緒方 賢 三段跳7位で県大会出場

谷 亜希子 走高跳2位で県大会出場、県大会4位(記録1m56cm) 全国大会出場、予選敗退



松尾 愛 走幅跳2位で県大会出場、県大会4位

田中 慧 走幅跳7位で県大会出場

谷・田中 慧・枇杷木・田中 16000リレー5位で県大会出場

【県高校選手権大会】
谷・松尾 16000リレーで県大会に出場

水泳部

【未広杯全九州大会県予選】

岡本 希 2000M自由6位

西田明日香 500M自由4位

内山麻亜沙・牟田夢美・高木香織・石濱藍 400EMDRレー3位

一ノ宮花菜 800M自由4位・4000M自由5位

高木 香織 4000M個人MD5位

石濱 藍 1000M平泳3位

一ノ宮・内山・牟田・岡本 4000リレー3位

女子総合51点・4位の成績で、未広杯全九州大会に出場

【全国高校総体大会中部地区予選】

高木 香織 2000Eと4000M個人MD3位

一ノ宮花菜 4000M自由4位・8000M自由3位

石濱 藍 1000M平泳2位・2000M平泳3位

西田明日香 1000E青泳5位

西田・石濱・高木・岡本 4000EMDRレー2位

岡本・牟田・高木・西田 4000E自由リレー3位

新任の先生から一言

藤吉 範子 (保健体育)



はじめまして。四月に博多工業高校から転任してきました。福翔は前任校とは全く正反対で女子生徒が多く、担当も女子だけなのでとても新鮮に感じています。部活動や学校行事なども積極的に活動しているので、私もパワーをもらいながら頑張りたいと思います。

宇土 健治 (教頭)



福岡西陵高校より今年度教頭として赴任しました。一年ぶりの本校への復帰です。一年間の他校での経験は本校を見直す良いきっかけになったのではないかと思います。本校も将来を見据え、更なる改革が必要であり、微力ですが尽力したいと思っています。

横尾 太吉 (国語)



残り10年の教員生活を送ることになりました。心に浮かぶ思いを、生徒に巧く伝えることができないまま、この年令になった事を恥ずかしく思っています。伝統を保持しつつも新誕生した福翔で、心機一転、再スタートを切りたいと思っています。

阿部 理絵 (家庭科)



今年、一年四組の担任をさせていただいています。毎日パワー全開の生徒達を目の前にして、悪戦苦闘しています。これからも明るく元気に、しかしけじめのあるクラスを目指して、日々生徒と共に学校生活を送っていきたくと思っています。よろしくお願いします。

横山 圭一 (英語)



本年度の異動により福岡女子高校より赴任して参りました。担当教科は英語です。前任校では国際教養科という専門学科を中心に担当していた事もあり、まだまだ戸惑う事も少なくありませんが、授業、生徒指導そして部活動と幅広くがんばっていこうと思っています。

有馬 陽子 (美術)



赴任して、福翔生のやる気とパワーに圧倒され続けた一学期が終わろうとしています。文化祭、体育祭、各部活動など、生徒が主体的に活動し、とても活気に満ちています。生徒のやる気に応えられるよう、一生懸命努めて参りたいと思います。

中島 尚光 (技術吏員)



小田部小学校から来ました技術吏員の中島です。高校に来てまず思ったのは、とにかく広いということです。その分、仕事量や内容が幅広くなると思いますが、生徒が有意義な学校生活を送れる学校環境作りにも努めていきたいと思っています。

西 正行 (理科)



はじめまして。この4月に博多工業高校から、転任してきました。専門は化学です。14年間博多工業にいましたので、工業高校気質が染み付いていて、ようやく福翔に慣れ始めたところです。福翔高校の伝統を汚さぬようにがんばります。よろしくお願いします。

女子総合成績75点2位で県大会に出場

【県大会】

西田明日香 50m自由2位

岡本 希 200m自由4位

石濱 藍 100m平泳2位

西田・石濱・高木・岡本 400mMDリレー3位

岡本・牟田・高木・西田 400m自由リレー4位

以上の成績で女子総合33点3位で九州大会に10種目出場

【九州大会】

西田明日香 50m自由5位、全国大会出場

【柔道部】

【九州大会中部地区予選】

渡邊真理奈 48kg級4位で県大会出場(入スト)に進出

【ソフトボール部】

九州大会中部地区予選は3位、県大会に出場3位

全国大会中部地区予選は2位、県大会は2回戦敗退

【バスケットボール部】

男子/九州大会中部地区予選3位、県大会に出場3位

全国大会中部地区予選は3位、県大会3位

女子/全国選抜大会福岡県予選で2次予選への出場

【卓球部】

【九州大会中部地区予選・国体地区予選】

久保 大輔 ベスト16に進出、県大会へ出場

【国体地区予選】

森山 香菜(ベスト32)に進出、県大会へ出場

【文化部 (平成16年4月より8月5日まで)】

【放送部】

【NHK杯放送コンテスト大会(県予選)】

加古 大地 朗読部門5位

矢野さやか・松尾沙知・尾崎佳那子

テレビドキュメント部門2位、東京NHKホールの全国大会に出場、準々決勝で敗退

【書道部】

【高文連書道部門県大会】

森田美紀子 九州大会出場、奨励賞を受賞

【ワープロ部】

【全国高校ワープロ競技大会】 団体6位

【その他の活動】

【全国高等学校ファッションデザイン選手権大会第一次審査】

成清麻衣子、一野英理子、大藤千恵

全国大会出場、入選逃す

特活指導部長 芝 恭介

同窓会だより

第38回生同窓会

4月6日、ウエル大濠荘において第38回生の平成16年度同窓会を開催いたしました。

去年、今年は殆どの同窓生が傘寿で、消息の判る7名に案内を送りました。(物故91名、消息不明32名)

出席14名無回答11名、欠席43名、欠席回答のコメントによれば、体調不良31名、奥さんの介護3名、遠隔地・他の行事等9名、出席者も何等かの体調不良を訴えています。

年と言えはそれまで、傘寿は統計によれば、やっと男子の平均年齢を越え、今からと言つ年では無かろうか。ともあれ窓越しに咲き初めた桜を望み、久方振りに杯を交わし、懐旧歓談尽きず、互いに自愛、来年もと固く約して名残り尽きぬまま散会しました。



筑後支部会



第4回「福商会」筑後支部会を4月24日(土)久留米プリチストンクラブで開催しました。

直前になり欠席者が数名おられ結局11名の出席者でした。

当日は本部より山口理事長、松尾副理事長にもご臨席頂き出席者一同大変感激し、また大変恐縮でした。有難うございました。

本部からのご臨席もあり例年になく盛り上がり荒井支部長の「詩吟」あり、そして特に森住先輩(42回生)の素晴らしい「マジックショー」ありで最高の一夜でした。

最後校歌で中締めを終え、来年4月の再会を誓い合いました。

関東39回生同窓会

去る4月27日(火)正午より、東京駅北口の東京大丸9階ルビーホールに、関東在住の福商第39回生6名が参集し、平成16年春季(第10回)同期の会を開催しました。遠く離れ住む同期の皆さん、関東在住10名の近況をお知らせします。(アイウエオ順)

石村善助君「体調不良で独りでは外出困難となりました。残念ながら欠席です。」

池田泰生君「茨城住まい13年、田園風景の中でサイクリングを楽しんでいます。」

今林康夫君「税理士生活22年目、まだ現役で頑張っています。」

高島象二郎君「この3月心筋梗塞で入院、一命はとりとめました。今回は欠席です。」

西村喜八郎君「心臓を悪くして、遠出はドクターストップの現状です。残念ながら欠席。」

花田實君「昨年東京に移り住み、漸く東京駅、新宿駅等の周辺だけはわかるようになってきました。」

平尾泰助君「この3月仰向けに転んで頭を打ちましたが幸い異常なし。元気です。」

宮地薫君「現在故郷の佐賀住まいですが、この会に出席するため千葉の市川にあるマンションに風を入れに来

ました。」

安永正孝君「庭いじりと、散歩と、図書館通いのこの頃です。」

山本俊生君「旅行を楽しんでいます。当日はペタソクの試合に出るので出席できません。」

午後二時までお互いの近況や、同期の誰彼のこと、博多のことや昔のことなどを和やかに語り合い、最後に校歌と凱旋歌を歌って散会しました。この上なく楽しく、幸せなひとときでした。



前列右から平尾、花田、安永、後列右から宮地、池田、今林



第42回生同窓会

第42回生本年度同窓会は去る5月15日、八仙閣において、23名の出席者のもと賑々しく開催されました。

本年喜寿を迎えたこともあってアメリカから西靖之君もかけつけ、歓談のうちに久しぶりに旧交をあたためあいました。

高齢者社会の今日にあつてなお現役を務める者、また体調を崩した級友も多くありますが、昭和トップ生まれの誇りをもってこれからも生き抜くことと誓い合い、校歌応援歌を唱いながら再会を約し散会しました。来賓として山口毅理事長、松尾副理事長も参加され錦上添花を添えていただきました。



太宰府支部会

6月12日(土)太宰府天満宮境内の大楠館に22名が集い、見ごろとなりライトアップもされた花菖蒲を眺めながら歓談しました。

本部から副理事長松尾嘉助(43回生)さん、箱崎支部長古田鷹治(42回生)さんの出席も頂きました。会場の大楠館は三吉和男(62回生)さんの父伊三郎(18回生)さんの親友鬼木忠(18回生)さんの店です。また菖蒲池の中に踊り場があり、午後七時半からの飛梅大使クラブによる音楽祭の担当は大満宮神宮野村木乃実(78回生)さんです。今回も福商の先輩後輩同窓の縁を深く感じる会となりました。森住勝(42回生)さんのマジック、古田さんの博多にわかで夏を盛りあげて戴きました。

福商会東京支部



平成16年6月26日(日)午後2時から、JR東京駅の近くのルビーホールで東京支部の合同同窓会が開催されました。約100名近くの出席者で盛大に取り行われました。

福商会より山口理事長、松尾副理事長、前田専務理事、学校から段校長が出席されました。

河辺吉幸氏(62回)の司会により和やかな雰囲気の中で始まりました。平井哲三郎東京支部長(41回)の挨拶に続き、段校長より福翔高校の現況の説明があり、ついで山口理事長より三役の紹介、引き続き福商会の現況、今後の運営方針の説明の後、支部活性化資金として金三十万円の贈呈が行われ、支部会員の皆様から大変感謝されました。

乾杯の音頭で開宴となりました。

一年ぶりの再会といふことで会場のおちこちで談笑の輪が広がりました。余興は美人姉妹の二人の歌とフラダンスで会場の雰囲気を一挙に盛り上げ、出席者も一緒に踊るのを楽しんでおられました。会も終宴近くなり、お楽しみビンゴゲームで福商会より提供した博多ラーメンや豪華景品に皆様大喜びでした。最後は平井支部長の指揮により応援歌、寮歌、校歌を高らかに歌い上げました。

「母校は遠くにあつて思つものなり」の感がひしひしと伝わる支部同窓会でありました。

尚、平井哲三郎氏は今年より宮内庁式部職楽部の指揮者となられ、活躍されています。



今を生きる

(その1)

檜和田 正子
(55回生)
二丈町 町会議員



福商100周年事業は、福商を卒業した私たち3人の兄弟にとって、記念すべき時代のページになりました。この行事に参加することが出来たことを喜んでいきます。在学はそれぞれその人生の中のわずか3年ですが、この福商会の力で私たちは人生を大いに羽ばたかことが出来ました。

福商会は、今日の経済界をリードされた諸先輩たちが後輩のために力を傾けられた心意気を知る機会でもありました。

私と弟は既に定年を迎え、第2の人生を歩み始めていますが、昭和30年代

の在学当時のことを振り返りますと、就職は厳しかったと思います。しかし、就職指導の先生方には熱心に、指導をしていただきました。社会に出て42年間、好景気の時もあれば大変な不況の時もあり、さまざまな時代の流れの中でいろんなこともありましたが、福商卒業を何よりの支えとして、人生をここまで歩んでこられたことを深く感謝しています。

同窓会行事に参加するきっかけとなったのは、自分の子どもが高校進学の時を迎え、進路を考え始めた時でした。出来れば福商で学ばせたいと考えました。子供は自分の希望と違つと話合いにならず、親子で同窓の夢は実現しませんでした。

100周年の事業の中で、熱と意気の先輩方と一緒に行事に参加する機会に恵まれたことや、力の限りエネルギーを傾ける若さあふれる後輩たち。同じ福商の同窓生として、人生を見つめる楽しい出合いは、全国同窓会やふと街で出会ったときも同窓生という懐かしい気分になるものです。

【ボランティア】

私は毎年、2週間ウズベキスタンの大学生をホームステイしています。ウズベキスタンは13年前にソビエトから独立した国です。留学生をあずかるこ

とになったのは、福岡教育問題研究所の所長の藤野達善さんがソビエト旅行で知り合ったウズベクの東洋学大学の先生と交流し、その関係からシルクロードの旅を企画されたときに、長女がシルクロードのブルーのモスクに魅せられ旅行に参加し、その後ウズベクとの文化交流が始まったことから、長女が第一回のホームステイを引き受けたのがきっかけでした。アパートの2DKにウズベクの青年を預かった時

の様子は、香水に悩まされたことや、夜は焼き鳥屋に連れて行って、酒を飲み交わしたと言つ話を聞いて、ホームステイと言つのが気軽に出来ると感じたからでした。ウズベクの留学生は日本に来て一ヶ月間、日本のお茶やお花などの文化や漢字・音楽・歴史・経済を学びます。学生たちが、日本の文化や日本語をなぜ学ぶのか、ウズベキスタンの若者の考えを話してくれます。日本が好きだから日本文学部で学ぶ生徒が多いのだそうです。

自分の国に帰ってから、国づくりに積極的に参加するという目的を持ち、熱心に学ぶ姿に、国の違いではなく、人として大切なものを身につけることを学ばされます。

留学生は、日本にきたのも初めて、勿論、外国に出かけたのも初めてと言います。ホームステイの各家庭で朝と夕食を用意します。留学生は、学科や社

会見学などのスケジュールをこなします。短期間とはいえ、初めて出会ったとは思えない親しみを感じるのには留学生の努力を目の前にするからでしょう。

ウズベクの留学生は、日本の若者について観察したことを次のように語りました。「日本の子供は恵まれて育つたために、何かをやるつという目的を見出せないのではないかと指摘します。ウズベキスタンは13年前にソ連から独立した新しい国です。

若いということは、大きな可能性を感じます。ウズベクで日本語を学んだ期間はたったの一年ということでしたが、ロシア語の辞書を片手に、日本語で話します。私の家庭にあるパソコンで、世界の子供たちの状況をインターネットで調べ、世界の子供たちの様子と比較してみます。

日本の高校生の勉強や生活環境について500名のアンケートを採り、レポートにまとめ、交流会で発表します。

日本の子供たちが外国に行った時に、その家庭でどんな過ごし方をするのだろうかと考えて見ます。日本ではどんなしつけが行われているか問われるだろうと思います。まず家の手伝いが、ちゃんとできるだろうか心配します。ウズベクでは、子供は家の手伝いをするのは当たり前ですと、気持ちよく手伝ってくれました。(次号につづく)



「私は素人のクラシックファン。私のような市民が聞きに行きたいと思える、楽団にしていくお手伝いをしたい」

五期十五年にわたり理事長を務めた田中健蔵・元九大学長の後任として、九州交響楽団の第三代理事長に就任した。

音楽とのかかわりは、太平洋戦争中にさかのぼる。旧制中学時代「弁論部に誘われたが、詩吟をやらされるのが嫌で、逃げ込んだ」吹奏楽部でトロンペットを担当。「時代柄、軍艦マーチばかり吹いていた」と笑う。戦後の学生時代は「乱読ならぬ『乱聴』」。好きな曲や指揮者を選ぶ余地はなく、聴けるものなら何でも、とじつ霧困気だったと、竹の針でレコードを聴いていたころを振り返る。

「今は」コンサートもめじろ押し。その中から九響を選んでもらうために、頭をひねらなければならぬ」と、演奏曲目などにも工夫の余地があると指摘。「一握りの熱心なクラ

九州交響楽団理事長に就任した

後藤 豊彦 さん(45回生)



西日本新聞より転載
(平成16.6.9 朝刊)

シック愛好者だけを相手にしては駄目。出演者を工夫するなどして、もつと地元に着しないといけない」と改革にも意欲をみせる。地方の音楽団体は、個人や企業、自治体からの財政支援はなお低調で、運営環境は厳しい。福岡銀行相談役として「集金力」にも期待が集まるが、「文化の向上と地域支援には奉仕の精神が必要。財界ももちろん、総力を挙げて応援したい」と、地場経済界とのパイプ拡大にも意欲十分だ。

現在の一番の楽しみはガーデニング。「花いっぱい」の自宅の温室で、妻とゆつくりクラシックを聴くのが、何よりくつろげる時間」。学生時代からラグビー、茶道にも親しむ。福岡市中央区。七十五歳。
(文化部 塩津建司)

第35回 福商会ゴルフコンパ

平成16年5月26日、福岡カンツリー倶楽部で第35回福商会ゴルフコンパが開催されました。当日は晴天に恵まれて絶好のゴルフ日和となり参加者94名張り切ってスタートして行かれました。

大先輩では33回生で今石隆一、鳥山昇川辺清史先輩方が元気にプレーされました。女性会員も二人参加され、特に江川妙子さん(59回生)はこの日の為にわざわざ帰福されたの参加となりました。競技はダブルヘリア方式で松組(51回生まで)竹組(52~58回生)梅組(59回生以降)に分かれて腕を振るわれました。4時頃には全員プレーも終了し、委員長の小嶋康博氏(59回生)と鬼木峯子さん(79回生)お二人の軽妙な司会で成績発表と懇親会が行われました。

小嶋氏のお陰で豪華な景品が沢山集まり、参加者全員にお土産を持って帰って頂き大変喜ばれました。最後に各組の優勝者に山崎実行委員長よりカップを渡され、盛會裡に大会を無事終了することが出来ました。

成績は下記の通りです。



各組の優勝者の皆様と実行委員長の小嶋氏

梅組		竹組		松組	
優勝	谷 繁	優勝	川崎 輝	優勝	柴田 陽
2	北風 秀夫	2	田中 昌夫	2	山口 博
3	河野 嘉雄	3	大藤 淳一	3	戸川 堯助
4	小嶋 康啓	4	前田 福一	4	近松 三吉
5	小西 啓六	5	藤 津	5	5 松 閑
6	安藤 俊隆	6	藤 津	6	6 長 正
7	宮地 繁	7	梅 限	7	7 空 剛
8	無津 勇	8	篠 森	8	8 鳥 正
9	永江 妙	9	小柴 正	9	9 田 剛
10	江川 子	9	柴 正	10	10 木 清

福商暮楽会

「福商暮楽会」では毎月第3土曜日、10時30分より福商会館にて行っております。気軽にご参加下さい。現在のメンバーは下記の18名です。

- 名誉会長
 大山 豊 (28回生) 菊池 信俊 (38回生)
 佐々木 蔵 (32回生) 永田 義彦 (54回生)
 会長
 淀川 良太郎 (32回生) 山根 建次 (55回生)
 立石 清志 (33回生) 矢木 雅夫 (56回生)
 深見 正次郎 (35回生) 山口 利勝 (58回生)
 印 正司 (35回生) 松本 嶺子 (53回生)
 日下部 礼蔵 (35回生) 岡部 真弓 (53回生)
 堀内 徳重 (37回生) 藤村 みつ子 (53回生)
 西野 達美 (38回生) 木村 和子 (48回生)

福商会館1階にテナントが入館



福商会館の1階にテナントとしてヒットユニオン(株)が入館し、5月22日にオープンしました。

物故者(前号から6月末まで)

- 36 島田 雄 (16) 44 西頭 昭三 (16) 79 高田 紀五 (16) 50 永井 和美 (16) 65 山口 修子 (16) 40 前川 尚美 (16) 37 武田 莊一郎 (16) 44 浦志 道治 (16) 53 林田 憲蔵 (16) 52 池田 誠四 (16) 41 柴田 豊喜 (16) 38 佐々木 謙二 (16) 36 安河内 重信 (16) 36 福水 陽一 (16) 53 中嶋 正義 (16) 50 石井 実 (16) 26 速水 忠兵衛 (15) 44 藤本 徳一 (15) 30 小谷 彦七 (15) 38 船越 哲夫 (15) 31 大塚 芳寛 (15) 36 安河内 康助 (15) 52 金子 正雄 (12) 38 住田 徹 (12)

躍進する 総合建設業・木材業
 柏屋グループ 不動産業
 一級建築士事務所
柏屋殖産株式会社
 代表取締役会長 篠原隆義 (54回生)
 本社 柏屋郡柏屋町大字仲原2525
 電話(代表)621-1331番

紙与産業株式会社
紙与不動産株式会社
 代表取締役会長 渡邊 與三郎 (39回生)
 福岡市中央区天神1丁目12の14号
 電話(092)721-4531番

線香・ローソク・お香・広告マッチ
株式会社 中島晴薫堂
 代表取締役 中島 勝敏 (55回生)
 〒812-0044 福岡市博多区千代4-8-19 TEL092-651-0441 FAX092-651-0449
 〒854-0055 長崎営業所 諫早市葉面町288番地305号 TEL-FAX0957-2191675

株式会社 堀江本店
 会長 堀江 武 (52回生)
 代表取締役社長 堀江 徹 (75回生)
 〒816-0063 福岡市博多区金の隈3丁目14-41
 TEL(092)503-0121(代)
 FAX(092)504-1219

福岡テープ株式会社
 代表取締役 糸永 清二 (55回生)
 福岡市博多区博多駅南2-16-10
 TEL 092-411-3929(代)

印刷の 専用は **nip株式会社 ナガシマ**
 代表取締役 永島 光雄 (55回生)
 笠木 雄二 (65回生)
 本村 智彦 (82回生)
 福岡市博多区豊1丁目9の18
 ☎(482)7751(代) ☎(482)7734

試薬 分析研究用 機材 診断検査用
正晃株式会社
 相談役 印 正司 (35回生)
 本社 福岡市東区松島3丁目八区一番〒813-0062
 営業所 福岡・北九州・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本
 鹿児島・宮崎・山口・下関・沖縄・東京

総合建設業一級建築士事務所
株式会社 五成建業
 会長 安河内 馨 (46回生)
 東京都世田谷区上馬4の13の19
 TEL 03(3418)8151(代)
 FAX 03(3424)9418

ビューティ・ビジネスの未来を創る。
株式会社 ダリヤ
 DARIYA
 代表取締役会長 高木 不二男 (60回生)
 TAKAKI FUJIO
 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-3-25
 TEL 092-472-3035 FAX 092-472-2347
 E-mail:f.takaki@net.email.ne.jp
 http://www.mmjp.or.jp/dariya

あらゆる印刷は！
慶和印刷株式会社
 代表取締役 前田 福一 (55回生)
 福岡市博多区東那珂1丁目15-1
 電話(092)474-4881番(代表)

「うまい！」うれしいお礼のことば
 きっと印象に残ります……………
味のめんたい 福太郎
 代表取締役 山口 毅 (52回生)
 ■配送センター・工場
 〒815-0001 福岡市南区五十川1-1-1 電話(092)475-7777

広告代理店
株式会社 春潮社
 取締役社長 古川 淳二 (63回生)
 福岡市博多区千代4-29-12
 電話(代表)641-1031番

福岡西口ロータリー 山崎会計事務所 所長 税理士 山崎 孝一 (四十二回生)	福岡西口ロータリー 博多輸出絹織(株) 代表取締役 後藤 長兵衛 (三十一回生)	福岡西口ロータリー 天神愛眼グループ 相談役 緒方 正實 (三十二回生)	福岡ロータリー 特別顧問 岩田 屋 中牟田 喜一郎 (三十回生)	福岡南口ロータリー 紙と産業(株) 代表取締役 会長 渡邊 與三郎 (三十九回生)	福岡博多ライオンズ 正 晃(株) 相談役 印 正司 (三十五回生)	福岡博多東ライオンズ 篠隈興産(株) 代表取締役 篠隈 光彦 (五十八回生)	福岡鶴城ライオンズ (株)中島晴薫堂 代表取締役 中島 勝敏 (五十五回生)
福岡ライオンズ (株)魚嘉 代表取締役 会長 松尾 嘉助 (四十三回生)	福岡若杉ライオンズ 粕屋殖産(株) 代表取締役 会長 篠原 隆義 (五十四回生)	福岡那ノ津ライオンズ (株)八仙閣 代表取締役 社長 増田 稔 (五十九回生)	福岡ヘイシティ21ライオンズ (株)九州クマリフト 代表取締役 会長 立川 洋蔵 (定一回生)	福岡ヘイシティ21ライオンズ (株)山口油屋福太郎 代表取締役 社長 山口 毅 (五十二回生)	福岡ヘイシティ21ライオンズ 慶和印刷(株) 代表取締役 前田 福一 (五十五回生)	ハヤミガレージ 代表者 速水 庸人 (三十二回生)	(株)田島屋味噌醸造元 代表取締役 会長 柴田 賢一 (三十六回生)
(株)西日本硝子セクター 東亜防水リメック(株) 代表取締役 久保 忠一 (定六回生)	正光印刷(株) 藤村 みつひ (五十三回生)	(有)エステート平野 代表取締役 平野 俊一 (四十六回生) 福岡市博多区東比恵二丁目一八	(株)五成建業 会長 安河内 馨 (四十六回生)	吉松 源次 (三十一回生)	東京支部会 支部長 平井 哲三郎 (四十一回生)	京阪神支部会 支部長 倉成 敬造 (三十三回生)	博多町人文化連盟副理事長 博多仁和加振興会副会長 古田 鷹治 (四十二回生)

CREAM FASHION LIFE
BRIDAL COSTUME
KYOYA 京屋

代表取締役社長 中村 成一 (57回生)

西新本社 〒814-0002 福岡市早良区西新4-6-23 京屋本社ビル
TEL092-851-3909 FAX092-822-6311
天神本店・アークホテル博多ロイヤル店・前原店・ホノルル店

中華料理
和食
海鮮料理

八仙閣

代表取締役社長 増田 稔 (59回生)

福岡市博多区博多駅東2丁目7-7
電話 (092) 411-4141 番

創業117周年
imai Printing

代表取締役社長 今井 勝彦 (57回生)

今井印刷株式会社
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目2番18号
TEL 092-781-5492 FAX 092-781-5613

福商会からのお知らせ

◆ 福商会館2階ホール及びロビーの賃貸について



2階ホール(86㎡)は本来なら福商会の会議、打ち合わせなどに利用される目的で作られておりますが、未利用の日もあります。下記金額で外部にも貸出しております。

また、使用目的、例えば社会奉仕団体の会合等には特別に料金を配慮し、福商会会員の紹介の場合もご相談に応じます。

みなさんお気軽にご利用下さい。

	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	一日中
	9:00～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～17:00	13:00～21:00	9:30～21:00
全日	12,600円	16,800円	20,790円	29,400円	29,400円	31,500円

※日・祭日の使用時間は9:00～17:00です。



2階ロビーは原則的に福商会員のみでの無料貸出になります。

10名程度まで使用可能ですので、同窓会の打ち合わせ、待ち合わせ等にお気軽にご利用下さい。

但し、午前9時より午後5時迄で、土・日・祭日は閉館しております。

お問い合わせ ☎ 092-711-9890

◆ 記事募集

同窓会を開催されたり、開催の予定等があれば「同窓会だより」に掲載いたしますので、簡単なコメントに写真を添えてお送り下さい。又、会員の皆様からの寄稿(随想・俳句・写真等)もお待ちしております。

◆ お店で紹介ページ募集(18頁の広告と同じ大きさです)

平成17年1月発行の福商会報に、お食事処・クラブ・スナック等の紹介ページを作ります。(一枠 5,000円)
同窓生の方々の多数のご参加をお願いします。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい

編集にあたっては「読みやすく、より親しみを持てる会報」を目指しています。会員の皆様の遠慮のないご意見ご感想をお待ちしております。

ご郵送又はFAXにて下記の宛先までお願い致します。

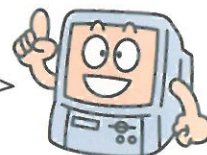
〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-57
(社)福商会

FAX/092-711-9266

ホームページ、Eメールをご利用下さい

http://www.fukushokai.or.jp
Eメール: info@fukushokai.or.jp

ホームページでは、原稿を頂きながら会報に掲載できなかった記事等を紹介しています。是非ご覧になって下さい。



編集後記

*新しい広報委員会のメンバーで、140号を皆様にお届け致します。

今回の製作のコンセプトは会

員の皆様に読み易く、そしてビジュアルに作る事でありました。表紙もカラーで印刷しました。そのため若干予算的にオーバー気味になりましたが、その分送料を見直したり、広告収入の増加などして、オーバー分を幾らかでも削減できるよう工夫しました。

*福商会の今後の運営の鍵は、何と申しましても多くの会員の方々への「今福商会が何をしようとしているか」を知って頂ける広報活動にあると思っています。その伝達方法の一つがこの「福商会報」であります。

更に10月頃には福商会のホームページが正式に出来上がる予定であります。勿論Eメールも現在設置しています。

若い会員や主婦の会員の皆様も簡単にホームページやEメ

ールで福商会へアクセスできるようになります。

会員の皆様と福商会の情報ネットワークが出来ればと考えております。

*会員の皆様からの寄稿(随想、俳句、写真等)をお待ちしています。福商会の広報誌として理事会報告や会務報告は必ず掲載しなければなりません。また、同窓会があればこれも必ず掲載しております。それだけに紙面がやや堅くなる事は止む得ないところですが、だからこそ会員の皆様の寄稿が編集する上で必要であります。寄稿だけでなく色々な同窓会ニュースがあればご連絡下さい。人事異動とか尋ね人とかの記事も面白いかと思えます。先輩後輩の中で、あの方のインタビュー記事が欲しいとリクエストしていただけましたら出来るだけ挑戦してみたいと考えております。

福商会や会報についてのご意見もどしどしお聞かせ下さい。

編集子 F・M